

企画展

世田谷区立平和資料館×昭和女子大学戦後史PJ

世田谷区民が送った兵営生活

栗林一路を例に

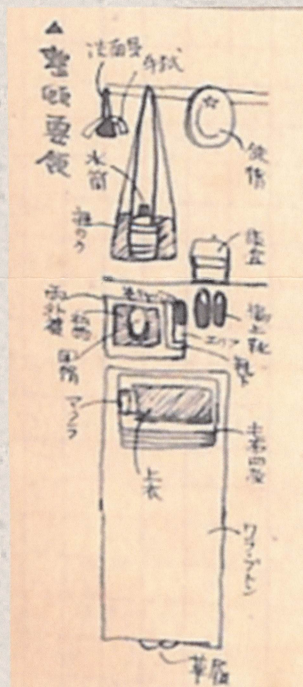
世田谷区には、区民の方々に寄贈していただいた史料が保管されています。今回の企画展では、栗林一路（くりばやし いちろ）さんの日記を、昭和女子大学の学生たちが紹介します。

一九二四年に生まれた栗林さんは青春時代を青山学院大学で過ごし、山岳部の活動に情熱を注ぎました。戦時には学徒動員され、兵隊に入りました。彼が几帳面に書いた日記には、人生を通して愛した山のこと、戦時のめまぐるしい雰囲気、その他様々な出来事が、ユーモラスなイラストと共に綴られています。

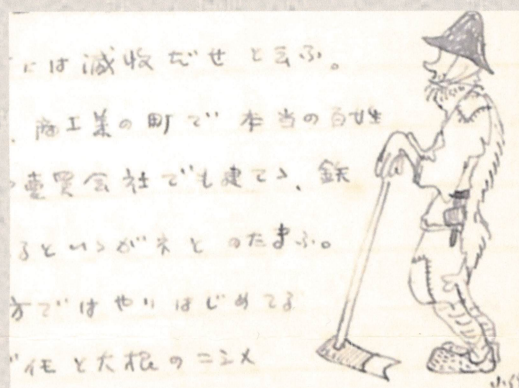
栗林さんにとって兵隊になることは、死を意識することでした。栗林さんの日記を通し、戦時の中の日常、日常の中の戦時について考える機会にしてみませんか？



▲「教練手簿」に記された、軍靴の靴紐の結び方。



▼日記には文字だけでなく、山や建物の風景画、人を描いた漫画調のイラストも描かれている。
▲兵営におけるロッカーの使い方。



開催期間：2023年3月3日（金）～4月30日（日）

◆入館時間：9：00～17：00（入館は16：45まで）

◆入 場：無料

◆休館日：毎週火曜日

（火曜日が祝日の場合はその翌日）

【企画】昭和女子大学

戦後史史料を後世に伝えるプロジェクト

【主催・会場】世田谷区立平和資料館多目的室

（せたがや未来の平和館）

